



▲土砂に埋もれた車両から救出する隊員たち



▲続々と避難してくる住民

本番さながらに干潟中で防災訓練 旭市総合防災訓練

干潟中学校で10月4日、地域住民やボランティア、防災関係団体など1,500人が参加して、総合防災訓練が行われました。訓練は午前8時、房総沖を震源とした大地震が発生したという想定で行われ、防災行政無線から避難指示の放送が流れると、100人あまりの住民が各区の役員や消防団を先頭に、次々と中学校へ避難してきました。訓練会場では、本番さながらの救助救出訓練を始め、給水、食糧供給訓練、消火器の取り扱い訓練などが行われ、参加者たちも真剣なまなざしで訓練に参加していました。



▲消防団が運んできたけが人の症状を診るドクター



▲積み上げられていく土のう



▲給水車から飲み水の供給を受ける親子



▲子どもたちもAEDを使った救命講習に参加



▲消火活動の中、建物に残された人を屋上から救助



▲燃え上がる炎に素早く消火器を向ける参加者

赤・白・ピンクのコスモスが秋風に揺れる

たくさんのコスモスが色づいた蛇園・出清水地区で、9月13日から27日までコスモス祭りが開かれました。今年は、4ヘクタールもの広さに咲くコスモスと競るように、周辺の彼岸花も見ごろを迎え、すばらしい眺めを演出。訪れた人の目を楽しませていました。地域の人が管理するこの地区では、春の菜の花や初夏のホタルも楽しめます。



▲色鮮やかなコスモスが咲く出清水地区

新しい人権擁護委員に鈴木節夫さん

10月1日付けで、新たに人権擁護委員として鈴木節夫さん（萬力）が、法務大臣から委嘱されました。任期は3年です。

人権擁護委員は、毎日の暮らしの中で起こる人権に関するさまざまな問題を解決するため、皆さんの相談に応じています。相談は無料で、相談内容などの秘密は守られます（相談日は、17ページに載っています）。



▲鈴木節夫さん

海岸線を駆け抜ける1,100台

ツール・ド・ちば2009

千葉の自然を楽しみながら、三日間で345キロメートルを走るサイクリングイベント、ツール・ド・ちば2009が10月10日から開かれました。初日のコースは山武市をスタートし銚子市で折り返し、白子町がゴールとなる117キロメートル。通過場所となる旭市は、午前と午後に1,100人を超す競技者が走り抜けました。午後の休憩所となった、いいおかみなと公園では、競技者をお囃子が出迎え。軽食や飲み物が配られるなど、ゴールを目指す競技者を癒していました。



▲休憩を終え再び走り出す競技者

日本を代表する選手が頂点を目指す

全日本卓球選手権大会・団体の部



▶女子決勝を戦う藤沼選手（右・日立化成）

来年開催される千葉国体のリハーサル大会を兼ねた、全日本卓球選手権大会・団体の部が、10月16日から三日間、総合体育館で開かれました。国内の実業団・大学生・高校生など、男女それぞれ12団体の選手が、日本一の座を目指し熱戦を展開。接戦を制したのは、男子は東京アート、女子は日立化成。それぞれ2年連続での優勝となりました。

なお大会運営には、たくさんの市民も参加しました。



▶チーバダンスで選手を出迎える園児



▶中学生も競技補助員で参加

開会式では、幼稚園児が「チーバダンス」を披露。その間に入場してきた選手は、それを見て思わずにっこり。中学生を始め、延べ1,660人のスタッフが大会サポートし、来年の国体開催に備えました。